

**【表紙】**

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	中国財務局長
【提出日】	平成27年1月14日
【四半期会計期間】	第40期第3四半期（自平成26年9月1日至平成26年11月30日）
【会社名】	株式会社ポプラ
【英訳名】	POPLAR Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 目黒 真司
【本店の所在の場所】	広島市安佐北区安佐町大字久地665番地の1
【電話番号】	(082)837-3500(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役副社長 中間 昭登
【最寄りの連絡場所】	広島市安佐北区安佐町大字久地665番地の1
【電話番号】	(082)837-3510
【事務連絡者氏名】	取締役副社長 中間 昭登
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第39期 第3四半期連結 累計期間	第40期 第3四半期連結 累計期間	第39期
会計期間	自平成25年 3月1日 至平成25年 11月30日	自平成26年 3月1日 至平成26年 11月30日	自平成25年 3月1日 至平成26年 2月28日
営業総収入 (千円)	42,324,029	37,890,373	55,487,745
経常損失 ( ) (千円)	389,904	522,933	742,576
四半期(当期)純損失 ( ) (千円)	1,269,910	675,694	2,300,595
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	1,194,107	634,230	2,230,936
純資産額 (千円)	5,757,586	4,086,515	4,720,751
総資産額 (千円)	21,382,613	19,015,027	16,818,990
1株当たり四半期(当期)純損失 金額 ( ) (円)	128.20	68.21	232.25
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	26.9	21.5	28.1

回次	第39期 第3四半期連結 会計期間	第40期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成25年 9月1日 至平成25年 11月30日	自平成26年 9月1日 至平成26年 11月30日
1株当たり四半期純損失金額 ( ) (円)	115.45	41.99

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 営業総収入には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、1株当たり四半期(当期)純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間（平成26年3月1日～平成26年11月30日）におけるわが国経済は、輸出系企業の好調な業績により雇用情勢の改善がみられたものの、円安に伴う物価上昇や実質賃金の低下などの懸念材料から、先行きの見通しに慎重な消費者心理が増大し個人消費は低迷する状況が続きました。

このような状況のもと、当社グループは、お客様第一、顧客満足度の更なる向上に取り組んでまいりました。

#### 株式会社ローソンとの資本業務提携

業界を取り巻く環境が大きく変化する中で、ポプラおよびローソンは、従来の取り組みに加え一層の経営体制強化が必要との認識で一致し、商品開発・共同仕入、店舗開発情報の共有、共同販売促進キャンペーンの実施、物流インフラの相互活用などの分野での協業を目的として資本業務提携契約に合意いたしました。

#### 業革の状況

第二ステージの取り組みとして、営業力を背景に主力取引先とMD検討（＝MDコラボレーション）を展開しています。月々店舗起点でPDCAをまわすことで、対象カテゴリの販売力の強化を促進しています。また、発注最適化プログラム「中食マックスシーク」については8月に大幅に機能強化したマックスシーク2の運用を開始し、さらに、常に売場の豊富感を維持、立地・客層に合わせた品揃えを展開することで、お客様に満足いただける店づくりを進めております。

#### 商品・サービスの状況

10月1日より楽天Rポイントサービスを開始、ポプラグループ店でのお買い物で楽天スーパーポイントを貯めたり、ネットショッピングで貯めたポイントを使うことが可能となりました。

また、来店するだけで楽天スーパーポイントが貯まる「楽天チェック」を広島地区23店舗、九州地区15店舗、関西地区15店舗、関東地区18店舗の合計71店舗へ拡大、加えてお客様ごとに個別のプロモーションやクーポンを配信することが可能な、楽天チェックによる「インスタ広告」配信サービスを導入いたしました。

#### 新規事業の状況

とんかつ専門店を展開するアークランドサービス株式会社とフランチャイズ加盟契約を締結し、当社運営による「かつや」1号店を広島市内に、9月に2号店目を山口市内にオープンいたしました。

また、ドラッグストア事業は3店舗を展開中、これら2つの事業は今後、コンビニエンス店舗からの転換や併設などCVS事業とのシナジー効果の創出に向けて展開を進めてまいります。

#### 出店の状況

新規出店は、法人加盟の開拓と企業コラボによる出店を推進し、病院、大学、職域、市役所などへ出店のほか、スーパー、100円均一店との複合店舗や、対馬、壱岐などの離島出店、合計27店舗（閉店32店舗）を実施、期末店舗数は650店舗となりました。

これら取り組みの結果、弁当・惣菜など中食の売上拡大の仕組みである「中食マックスシーク」により、米飯、FFスナックカテゴリーが好調に推移したものの、7月、8月の記録的な日照不足や低温、10月の台風の影響により集客が前年を大きく割り込んだことに伴い、第3四半期連結累計期間の業績は、チェーン売上高57,122百万円（前年同期比10.5%減）、営業総収入37,890百万円（前年同期比10.5%減）、営業損失530百万円（前年同期実績：営業損失410百万円）、経常損失522百万円（同：経常損失389百万円）となりました。

また、店舗の閉店等に伴う減損損失142百万円を計上したことに伴い、四半期純損失675百万円（同：四半期純損失1,269百万円）となりました。

当社グループ（当社及び連結子会社）の主要な売上高は、次のとおりであります。

（卸売上）

当第3四半期連結累計期間におけるフランチャイズ加盟店舗に対する卸売上高につきましては、消費の低迷などの影響により、7,709百万円（前年同期比9.7%減）となりました。

（小売売上）

当第3四半期連結累計期間における直営店舗の小売売上高につきましては、直営店舗数の減少などの影響により、26,118百万円（前年同期比11.9%減）となりました。

なお、当社グループは、コンビニエンスストア事業のみを報告セグメントとしているため、セグメント情報の記載を省略しております。

## （2）財政状態の分析

資産、負債及び純資産の状況

（流動資産）

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は前連結会計年度末に比較し2,758百万円増加し8,292百万円（前連結会計年度末比49.8%増）となりました。これは、主に現金及び預金が2,701百万円増加したことによるものであります。

（固定資産）

当第3四半期連結会計期間末の固定資産は前連結会計年度末に比較し562百万円減少し10,722百万円（前連結会計年度末比5.0%減）となりました。これは、主に有形固定資産が514百万円減少したことによるものであります。

（流動負債）

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は前連結会計年度末に比較し3,192百万円増加し10,331百万円（前連結会計年度末比44.7%増）となりました。これは、主に仕入債務が2,874百万円増加したことによるものであります。

（固定負債）

当第3四半期連結会計期間末の固定負債は前連結会計年度末に比較し362百万円減少し4,596百万円（前連結会計年度末比7.3%減）となりました。これは、主に資産除去債務が204百万円減少したこと及び長期預り金が106百万円減少したことによるものであります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末の純資産は前連結会計年度末に比較し634百万円減少し4,086百万円（前連結会計年度末比13.4%減）となりました。これは、主に四半期純損失675百万円の計上によるものであります。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	36,160,072
計	36,160,072

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成26年11月30日)	提出日現在発行数(株) (平成27年1月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	9,905,822	9,905,822	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数 100株
計	9,905,822	9,905,822	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成26年9月1日～ 平成26年11月30日	-	9,905,822	-	2,410,137	-	2,097,889

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成26年8月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成26年11月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	-	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 9,880,700	98,807	-
単元未満株式	普通株式 25,122	-	-
発行済株式総数	9,905,822	-	-
総株主の議決権	-	98,807	-

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が200株含まれております。  
また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数2個が含まれております。

【自己株式等】

該当事項はありません。

2【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成26年9月1日から平成26年11月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成26年3月1日から平成26年11月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、優成監査法人による四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,301,516	5,003,369
受取手形及び売掛金	198,787	159,161
商品及び製品	1,333,996	1,380,666
原材料及び貯蔵品	20,831	51,447
その他	1,687,257	1,709,836
貸倒引当金	8,057	11,706
流動資産合計	5,534,332	8,292,774
固定資産		
有形固定資産		
<b>自社有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	1,228,676	1,145,101
土地	2,461,762	2,322,906
その他(純額)	1,592,440	1,389,838
<b>自社有形固定資産合計</b>	5,282,879	4,857,847
<b>貸与有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	1,165,321	1,068,998
土地	400,258	375,218
その他(純額)	91,871	124,101
<b>貸与有形固定資産合計</b>	1,657,451	1,568,318
<b>有形固定資産合計</b>	6,940,330	6,426,166
無形固定資産	837,261	890,369
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,805,293	2,583,764
その他	781,996	905,002
貸倒引当金	80,224	83,050
<b>投資その他の資産合計</b>	3,507,065	3,405,717
<b>固定資産合計</b>	11,284,657	10,722,252
<b>資産合計</b>	16,818,990	19,015,027



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,620,214	4,504,693
加盟店買掛金	921,315	1,911,420
預り金	1,394,353	1,393,979
未払法人税等	115,215	72,606
賞与引当金	81,791	10,623
資産除去債務	6,265	199,558
その他	1,999,729	2,238,641
流動負債合計	7,138,885	10,331,523
固定負債		
退職給付引当金	363,342	416,350
資産除去債務	1,028,619	824,165
長期預り金	1,705,753	1,599,576
その他	1,861,637	1,756,895
固定負債合計	4,959,353	4,596,988
負債合計	12,098,238	14,928,511
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,410,137	2,410,137
資本剰余金	2,649,164	2,097,889
利益剰余金	487,925	612,344
自己株式	5	10
株主資本合計	4,571,371	3,895,671
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	149,380	190,844
その他の包括利益累計額合計	149,380	190,844
純資産合計	4,720,751	4,086,515
負債純資産合計	16,818,990	19,015,027

## (2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)
営業総収入		
売上高	39,079,687	34,883,094
営業収入	3,244,342	3,007,278
営業総収入合計	42,324,029	37,890,373
売上原価	30,517,860	27,243,789
営業総利益	11,806,169	10,646,584
販売費及び一般管理費	12,216,697	11,176,920
営業損失( )	410,528	530,335
営業外収益		
受取利息	11,359	9,904
受取配当金	2,298	2,707
受取保険金	21,687	12,437
貸倒引当金戻入額	3,090	-
その他	21,830	26,777
営業外収益合計	60,267	51,827
営業外費用		
支払利息	32,239	29,126
貸倒引当金繰入額	-	5,742
その他	7,404	9,557
営業外費用合計	39,643	44,426
経常損失( )	389,904	522,933
特別利益		
固定資産売却益	121	65,355
補償金・違約金	2,086	113,706
受取手数料	76,590	-
補助金収入	59,814	-
開発負担金収入	50,000	-
その他	9,470	8,924
特別利益合計	198,082	187,985
特別損失		
固定資産売却損	76	-
固定資産除却損	2,318	9,022
減損損失	854,903	142,972
店舗閉鎖損失	94,819	36,261
その他	13,666	565
特別損失合計	965,784	188,821
税金等調整前四半期純損失( )	1,157,605	523,769
法人税、住民税及び事業税	78,281	68,208
法人税等調整額	34,023	83,715
法人税等合計	112,304	151,924
少数株主損益調整前四半期純損失( )	1,269,910	675,694
四半期純損失( )	1,269,910	675,694

【四半期連結包括利益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失( )	1,269,910	675,694
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	75,803	41,463
その他の包括利益合計	75,803	41,463
四半期包括利益	1,194,107	634,230
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,194,107	634,230
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

㈱キリン堂薬局は当第3四半期連結会計期間において清算終了したため、連結の範囲から除外しております。なお、清算までの損益計算書については連結しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

四半期連結貸借対照表関係

前連結会計年度において、流動負債の「その他」に含めて表示しておりました「資産除去債務」は、金額的重要性が増したため、当第3四半期連結会計期間より区分掲記しております。

当該表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結貸借対照表の組み替えを行っております。この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表について、流動負債の「その他」に表示していた2,005,994千円は、「資産除去債務」6,265千円、「その他」1,999,729千円として組み替えております。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
支払手形	- 千円	14,203千円

(四半期連結損益計算書関係)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)
減価償却費	750,344千円	675,473千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年5月23日 定時株主総会	普通株式	49,530	5	平成25年2月28日	平成25年5月24日	利益剰余金
平成25年10月7日 取締役会	普通株式	49,529	5	平成25年8月31日	平成25年11月5日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 株主資本の金額の著しい変動

当社は、平成26年4月25日開催の取締役会において平成26年5月22日開催の第39期定時株主総会に、資本準備金及び利益準備金の額の減少並びに剰余金の処分について、以下の内容について付議することを決議し、同株主総会にて承認可決されております。なお、本件は、「純資産の部」の振替処分であり、当社グループの純資産合計に変動はありません。

1. 資本準備金及び利益準備金の額の減少並びに剰余金の処分の目的

繰越利益剰余金の欠損を填補し、今後の柔軟かつ機動的な資本政策を実現するため、資本準備金及び利益準備金の額の減少並びに剰余金の処分を行うものであります。

2. 資本準備金及び利益準備金の額の減少の要領

会社法第448条第1項の規定に基づき、資本準備金及び利益準備金の額を減少させ、その他資本剰余金及び繰越利益剰余金に振り替えるものであります。

(1) 減少する準備金項目及びその額

資本準備金 551,274千円

利益準備金 77,800千円

(2) 増加する剰余金項目及びその額

その他資本剰余金 551,274千円

繰越利益剰余金 77,800千円

3. 剰余金の処分の要領

会社法第452条の規定に基づき、その他資本剰余金及び別途積立金の全額を減少させ、繰越利益剰余金に振り替えるものであります。

(1) 減少する剰余金の項目及びその額

その他資本剰余金 551,274千円

別途積立金 1,441,300千円

(2) 増加する剰余金の項目及びその額

繰越利益剰余金 1,992,574千円

上記の結果、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が551,274千円減少し、利益剰余金が551,274千円増加しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)

当社グループは、「コンビニエンスストア事業」(付帯事業としての「食品製造卸事業」を含む)を主とし、「ドラッグストア事業」及び「保険代理店事業」を行っております。

「コンビニエンスストア事業」を単一の報告セグメントとしており、その他の事業については、重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)

当社グループは、「コンビニエンスストア事業」(付帯事業としての「食品製造卸事業」を含む)を主とし、「ドラッグストア事業」「飲食事業」及び「保険代理店事業」を行っております。

「コンビニエンスストア事業」を単一の報告セグメントとしており、その他の事業については、重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)
1株当たり四半期純損失金額	128円20銭	68円21銭
(算定上の基礎)		
四半期純損失金額(千円)	1,269,910	675,694
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純損失金額(千円)	1,269,910	675,694
普通株式の期中平均株式数(株)	9,905,888	9,905,803

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成27年 1月13日

株式会社ポプラ

取締役会 御中

優成監査法人

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 本間 洋一 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 柴田 直子 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ポプラの平成26年3月1日から平成27年2月28日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成26年9月1日から平成26年11月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成26年3月1日から平成26年11月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ポプラ及び連結子会社の平成26年11月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- 
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。  
2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。